

「医療薬学」執筆規定

(平成27年12月25日 一部変更)

1. 投稿論文の体裁

論文は、表紙、サマリー、キーワード、本文および図表で構成される。原稿の体裁は、原則としてA4判でダブルスペース（行間2行）、上下左右の余白を2.5 cm程度、和文は明朝体、英文はTimes系で12ポイントフォントを使用して作成する。

2. 記載

論文作成は以下の記述順に従って行う。

2-1 表紙

- ・表題：表題はできるだけ短いものがよいが、内容をよく表現するものとする。
- ・所属機関名：全著者の研究機関名の公称を記載する。
- ・文献請求先および所在地：当該研究の連絡著者の姓名、所属研究機関名および所在地を記載する。
- ・和文論文の場合は緒言から引用文献の前までの総文字数、英文論文の場合は緒言から引用文献の前までの総語数を記載する。
- ・和文論文の表紙では、表題、著者名および所属研究機関名を和英併記、文献請求先および所在地を和文のみとし、英文論文の表紙では、全て英文のみで記載する。

2-2 サマリーおよびキーワード

英文サマリーは当論文の目的、方法、結果などを客観的にまとめたものである。項目立ては行わない。

2頁目に、サマリー（英文250語以内）、キーワード（英文4個以上6個以内、「Key words」と見出しをつける）、サマリーの和訳の順に記載する。

英文論文の場合も、サマリーの和訳を記載する。

2-3 本文

A. 医療薬学に関する原著論文・総説など

（推薦論文制度に基づく論文投稿も以下の形式に準じる）

一般論文：一般論文の和文論文には、緒言、方法、結果、考察、引用文献などを含め、英文論文には、Introduction, Materials and Methods, Results, Discussion, Referencesなどを含める。必要に応じて対象（Subjects）、理論（Theoretical）を独立させ、項目立てしてもよい。論文の長さは、和文論文は18,000字以内、英語論文は5,000語以内とし、図表の点数は合計8点以内とする。

ノート：ノートは一般論文に準ずる。論文の長さは、和文論文は14,000字以内、英文論文は4,000語以内とし、図表の点数は合計6点以内とする。

ミニレビュー：ミニレビューには緒言、本文（適宜、見出しを付する）、結語または展望、引用文献などを含める。論文の長さは一般論文に準じる。

総説：長さは刷り上がり15頁以内（文字換算で和文論文は25,000字以内、英語論文は7,500語以内）を目安とし、文字と図表の配分は問わない。

B. 医療薬学に関するその他の寄稿

専門薬剤師リレーエッセイ：長さは1,200文字以内（刷り上がり1頁）とし、著者写真、著者略歴を掲載する。
オピニオン：長さは1,200文字以内（刷り上がり1頁）とする。

学会・研修参加報告：長さは2,400文字以内（刷り上がり2頁以内）とする。団長以外の参加者全員の寄稿を掲載する。

トピックス：長さは2,400文字以内（刷り上がり2頁以内、1頁でも可）とする。

2-4 謝辞

感謝の辞を付記したい場合は利益相反の前に「謝辞」と見出しをつけ、これに続けて記載する。

2-5 利益相反

引用文献の前に「利益相反」と見出しをつけ、これに続けて「自己申告によるCOI報告書」（様式2）の内容を記載する。

2-6 引用文献

引用文献は本文の最後に番号を付して列記する。本文中には最初に出たものから順次通し番号を文章の右肩に小さくつける。インターネット、講演要旨集、添付文書、インタビューフォーム、社内資料および新聞からの引用については、本文中に記載し、引用文献には含めない。引用文献の正確性については著者の全面的な責任であるため、記述にあたり充分注意する。

<引用文献の記載方法>

雑誌の場合は1 全著者名, 2 論文題名, 3 雑誌名, 4 発行年, 5 巻数, 6 開始頁および最終頁の順に記載する。和文論文の場合は日本人著者名は姓名共に記載し, 外国人著者名は last name, first name のイニシャル, middle name のイニシャルの順に記載する。英文論文の場合は, 日本人著者名は外国人著者名の記載方法に準ずる。欧文雑誌名は斜体, 巻数は太字で記載する。引用した最初と最後の頁番号をハイフン (-) でつなく。単行本の場合は次の順序で記載する。1 全著者名, 2 書名, 3 版数, 4 巻数, 5 編集者, 6 出版社, 7 発行地, 8 発行年, 9 開始頁および最終頁。投稿論文が英文の場合は, 引用文献もすべて英文で記載する。投稿論文が和文の場合で, 引用論文が英文の場合は, 引用文献はすべて英文で記載し, 引用論文が和文の場合, 引用文献はすべて和文で記載する。

<記載例>

- 1) Krummel T, Dimitrov Y, Moulin B, Hannedouche T, Drug points: Acute renal failure induced by topical ketoprofen, *BMJ*, 2000, **320**, 93-97.
- 2) 林 恭子, 大津史子, 矢野玲子, 榊原仁作, 後藤伸之, 副作用データベースを利用した高齢者における医薬品による副作用の特徴および危険因子に関する研究, *医療薬学*, 2012, **38**, 67-77.
- 3) Akase T, Nakamura H, “Compatibility of injections and infusions: Good understanding from the evidence”, ed by Yodosha Co, Ltd, Tokyo, 2009, pp19-35.
- 4) 田村和夫編, “がん治療副作用対策マニュアル”, 南江堂, 東京, 2003, pp71-75.

2-7 図のタイトルおよび説明 (Figure legends)

図のタイトルおよび説明 (凡例など) は, 図とは別にまとめて記載する。

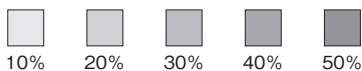
2-8 図表

図表は論旨の展開に必要な最低限のものに限り, 1 頁 1 点ずつ作成する。図には, 頁の右上隅に図と明確に區別して, 図 1, 図 2 のように番号を付す。表は表 1, 表 2 のように番号を付し, タイトルおよび説明もつける。本文中の該当する箇所に図表番号を図 1, 表 1 のように記載し, 下図, 次表などを用いない。モノクロ印刷希望の場合はモノクロで, カラー印刷希望の場合はカラーで作成する。審査用の図は, 掲載時の実寸 (片段の場合は幅 77 ミリ, 左右一段の場合は幅 110 ミリ~164 ミリ前後, 文字サイズは 6.5 ポイント以上) でアップロードし, 掲載用には解像度の高い図をアップロードする。

図に使用するパターンは以下を基本とし, 最終的に印刷されたものが識別できるようにする。



アミカケを使用する場合は, 以下を参考にする。



3. 単位の取扱い

単位は国際単位系 (SI) で記載する。ただし, mmHg や Osm など医療上汎用されている単位は使用できる

例)

セルシウス度	℃	ミリリットル	mL
リットル	L	マイクロリットル	μL

4. 英文の執筆について

論文を英文で投稿する場合は, 事前にネイティブスピーカーによるチェックを受ける。

5. 審査用原稿（初回原稿・修正原稿）および掲載用原稿のファイル形式について

表紙から図の説明の頁までを本文として一つのファイルにまとめる。ファイル形式は Word に限る。

図および表は 1 頁 1 点（複数のパネルを含む）ずつ作成し、本文とは別ファイルとする。

表のファイル形式は、DOC（X）、XLS（X）、PPT（X）、図のファイル形式は DOC（X）、XLS（X）、PPT（X）、JPG、GIF、PDF に限る。

◎別刷についてお願い

別刷は、著者校正時に印刷会社に直接申し込んでください。（本誌発行後に申し込むと、割高になります。）

◎複写される方に

本学会は、本誌掲載著作物の複写に関する権利を一般社団法人学術著作権協会に委託しております。本誌に掲載された著作物の複写をご希望の方は、(一社)学術著作権協会より許諾を受けてください。ただし、企業等法人による社内利用目的の複写については、当該企業等法人が公益社団法人日本複製権センター（(一社)学術著作権協会が社内利用目的複写に関する権利を再委託している団体）と包括複写許諾契約を締結している場合にあっては、その必要はございません。（社外頒布目的の複写については許諾が必要です。）

権利委託先 一般社団法人学術著作権協会
〒107-0052 東京都港区赤坂 9-6-41 乃木坂ビル 3F
Fax：(03) 3475-5619 E-mail：info@jaacc.jp

複写以外の許諾（著作物の引用、転載・翻訳等）に関しては(一社)学術著作権協会に委託致しておりません。直接本学会（Tel：03(3406)0787, Fax：03(3406)0789, E-mail：info@jsphcs.jp）へお問い合わせください。